

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：開発企画課総括係
氏名：小嶋、福島

受入課室等名	研究開発局開発企画課/研究開発局海洋地球課			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>			
受入時期	7月21日(火)	～	9月25日(金)	受入予定人数
受入期間	1		週間	(受入時期内の合計受入数) 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり	<input type="checkbox"/>	予定なし	<input checked="" type="checkbox"/>
受入条件	基本的なパソコン操作(ワード・エクセル・パワーポイント等)ができることが望ましいです。専門的な知識や技術は必要ありません。			
実習内容	<p>研修期間中、初日及び最終日は開発企画課において、2, 3, 4日目は海洋地球課において、下記のような実習内容に取り組んでいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発局所管業務全体の俯瞰 ・海洋科学技術及び地球科学技術等に関する各種データの集計、分析及び資料作成 ・各種会議の資料準備、運営補助及び傍聴 ・関連施設の見学 ・省内職員との意見交換 ・実習成果の報告 <p>実習中は、関心に応じてテーマを設定し、上記の経験を踏まえて海洋地球科学行政に関する課題解決に資する施策を検討いただき、職員に対してプレゼンテーションしていただく予定です。 なお、研修期間中の具体的な業務は、参加者のご希望等も考慮して計画します。</p>			
受入課室等紹介	<p>研究開発局は、環境エネルギー、地震・火山・防災分野などにおける社会的課題の解決のための研究開発や、ロケットや人工衛星、核燃料サイクルや核融合エネルギー、海底探査や南極地域観測など宇宙、原子力、海洋・地球等の分野における国家規模の研究開発(ビッグサイエンス)を推進しています。研究機関や大学、他省庁の職員など、外部からの出向者が多く、人材の多様性に富んでいることも特徴です。</p> <p>その中で開発企画課は、局の取りまとめ役として、省内外の関係者との連絡調整など、研究開発局全体の政策の総合調整を行っています。</p> <p>また、海洋地球課は、海洋研究開発機構(JAMSTEC)のほか、国立極地研究所や大学、国外の研究機関、関係省庁等と連携しながら、海洋・極域分野における研究開発を推進するための業務に従事しています。</p> <p>【海洋地球課施策例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究船等による全球観測、観測データ等を活用した海洋デジタルツインの構築や精緻な予測技術の開発 ○巨大地震発生前に観測されている「スロースリップ(ゆっくり滑り)」等の海底地殻変動のリアルタイム観測 ○深海・海溝域の探査をはじめとする海洋観測に関わる技術の開発 ○砕氷機能を有し、北極海氷域の観測が可能な北極域研究船「みらいⅡ」の建造 ○南極観測船「しらせ」による南極地域への観測隊員・物資等の輸送 			
受入課室等からの一言	実習が研究開発行政についての理解を深める機会になるとともに、ご自身のキャリアについて考えるきっかけにもなれば幸いです。科学技術行政や海、北極、南極等に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております！			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職： 開発企画課総括係
氏名： 小嶋、福島

受入課室等名	研究開発局開発企画課/研究開発局環境エネルギー課半導体エレクトロニクス推進室			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
受入時期	7月21日(火) ~ 9月25日(金)		受入予定人数 (受入時期内の合計受入数)	1人
受入期間	1 週間			
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/>	予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	基本的なパソコン操作(ワード・エクセル・パワーポイント等)ができることが望ましいです。専門的な知識や技術は必要ありません。			
実習内容	<p>研修期間中、初日及び最終日は開発企画課において、2, 3, 4日目は環境エネルギー課半導体エレクトロニクス推進室において、下記のような実習内容に取り組んでいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発局所管業務全体の俯瞰 ・次世代半導体研究開発に関する各種データの集計、分析及び資料作成 ・各種会議の資料準備、運営補助及び傍聴 ・省内職員との意見交換 ・実習成果の報告 <p>実習中は、関心に応じてテーマを設定し、上記の経験を踏まえて次世代半導体行政に関する課題解決に資する施策を検討いただき、職員に対してプレゼンテーションしていただく予定です。なお、研修期間中の具体的な業務は、参加者のご希望等も考慮して計画します。</p>			
受入課室等紹介	<p>研究開発局は、環境エネルギー、地震・火山・防災分野などにおける社会的課題の解決のための研究開発や、ロケットや人工衛星、核燃料サイクルや核融合エネルギー、海底探査や南極地域観測など宇宙、原子力、海洋・地球等の分野における国家規模の研究開発(ビッグサイエンス)を推進しています。研究機関や大学、他省庁の職員など、外部からの出向者が多く、人材の多様性に富んでいることも特徴です。</p> <p>その中で開発企画課は、局の取りまとめ役として、省内外の関係者との連絡調整など、研究開発局全体の政策の総合調整を行っています。</p> <p>また、環境エネルギー課半導体エレクトロニクス推進室は、2050年カーボンニュートラル実現に貢献する革新的グリーントランスフォーメーション(GX)技術の一つとして、半導体エレクトロニクスの研究開発を推進しています。</p> <p>【環境エネルギー課半導体エレクトロニクス推進室施策例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会全体の省エネ化を図るための、我が国発の次世代GaN(窒化ガリウム)パワーエレクトロニクスの実現に向けた研究開発 ○省エネ・高性能な半導体集積回路の創生に向けた新たな切り口による研究開発と将来の半導体産業を牽引する人材育成 			
受入課室等からの一言	実習が研究開発行政についての理解を深める機会になるとともに、ご自身のキャリアについて考えるきっかけにもなれば幸いです。科学技術行政や半導体等に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております！			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職： 開発企画課総括係
氏名： 小嶋、福島

受入課室等名	研究開発局開発企画課/研究開発局宇宙開発利用課			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月21日(火)	～	9月25日(金)	受入予定人数 (受入時期内の合計受入数)
受入期間	1		週間	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/>		予定なし <input checked="" type="checkbox"/>	
受入条件	基本的なパソコン操作(ワード・エクセル・パワーポイント等)ができることが望ましいです。専門的な知識や技術は必要ありません。			
実習内容	<p>研修期間中、初日及び最終日は開発企画課において、2, 3, 4日目は宇宙開発利用課において、下記のような実習内容に取り組んでいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発局所管業務全体の俯瞰 ・宇宙開発や航空科学技術に関する各種データの集計、分析及び資料作成 ・各種会議の資料準備、運営補助及び傍聴 ・関連施設の見学 ・省内職員との意見交換 ・実習成果の報告 <p>実習中は、関心に応じてテーマを設定し、上記の経験を踏まえて宇宙開発・航空科学技術行政に関する課題解決に資する施策を検討いただき、職員に対してプレゼンテーションしていただく予定です。なお、研修期間中の具体的な業務は、参加者のご希望等も考慮して計画します。</p>			
受入課室等紹介	<p>研究開発局は、環境エネルギー、地震・火山・防災分野などにおける社会的課題の解決のための研究開発や、ロケットや人工衛星、核燃料サイクルや核融合エネルギー、海底探査や南極地域観測など宇宙、原子力、海洋・地球等の分野における国家規模の研究開発(ビッグサイエンス)を推進しています。研究機関や大学、他省庁の職員など、外部からの出向者が多く、人材の多様性に富んでいることも特徴です。</p> <p>その中で開発企画課は、局の取りまとめ役として、省内外の関係者との連絡調整など、研究開発局全体の政策の総合調整を行っています。</p> <p>また、宇宙開発利用課は、宇宙・航空分野において宇宙航空研究開発機構(JAXA)が行う研究開発を幅広く推進しています。また、宇宙戦略基金の運用なども含め、JAXAを結節点として、産学官による宇宙活動を加速するための取組も実施しながら、宇宙活動の裾野拡大や産学官によるエコシステム形成にも取り組んでいます。</p> <p>【宇宙開発利用課施策例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基幹ロケットの開発・高度化 ○地球観測や衛星技術実証をはじめとした衛星の開発・運用 ○アルテミス計画に向けた研究開発やISS日本実験棟「きぼう」の運用 ○月や火星以遠への探査の研究開発 ○航空機電動化技術などのCO₂排出低減技術をはじめとする次世代航空科学技術の研究開発 			
受入課室等からの一言	実習が研究開発行政についての理解を深める機会になるとともに、ご自身のキャリアについて考えるきっかけにもなれば幸いです。科学技術行政や宇宙・航空分野等に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております！			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係員

氏名：萩原拓永

受入課室等名	研究開発局 原子力課			
募集学校種	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 専門学校の <input checked="" type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>
受入時期	9月7日(月)	～	9月18日(金)	受入予定人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small>
受入期間	2		週間	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができること (専門的な知識や技術は必要なし)			
実習内容	【原子力課における行政実務の経験】 ・原子力科学技術に関する政策の企画・立案 ・基礎資料の作成、データ収集、集計及び分析 等			
受入課室等紹介	原子力課では、国として重要な原子力科学技術に関する施策を体系的かつ総合的に推進・展開しています！ ○新たな試験研究炉の開発・整備の推進 ○次世代革新炉の開発に資する技術基盤等の整備・強化 ○放射性廃棄物の処理処分と原子力施設の廃止措置への対応 ○原子力科学技術に関する研究・人材基盤の強化 ○東京電力福島第一原子力発電所事故への対応			
受入課室等からの一言	AIの進展による電力需要の増加など、エネルギーを取り巻く状況は大きな転換期を迎えており、原子力の重要性は世界的にも高まっています。 原子力は、発電にとどまらず、医療用放射性医薬品の供給、材料分析や新素材開発などの最先端研究を支える基盤技術として、幅広い分野で社会を支えています。 文部科学省原子力課では、「世界をリードする原子力人材の育成、研究開発の推進、利活用の拡大、そして安全確保のための技術基盤の整備」を柱に、産業界やアカデミア、経済産業省をはじめとする関係府省と連携しながら、原子力分野の総合的な基盤強化に取り組んでいます。 そのような政策の最前線を、インターンで体験してみませんか。			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係長・専門職・係員

氏名：井原渉・三枝健悟・稲葉拓海

受入課室等名	研究開発局 原子力損害賠償対策室			
募集学校種	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月27日(月)	～	8月7日(金)	受入予定人数
受入期間	2		週間	(受入時期内の合計受入数) 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/>			
	予定なし <input checked="" type="checkbox"/>			
受入条件	文部科学省の業務を体験してみたい方を歓迎しています。ワード、エクセル、パワーポイント等の基本的なパソコン操作ができることが望ましいです。 (専門的な知識や技術は必要なし)			
実習内容	<p>【原子力損害賠償対策室の行政実務の経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力損害賠償対策室内 各班の業務体験 ・基礎資料の作成、データ修正、集計及び分析 ・審査会の準備、運営補助 ・関連施設の見学 等 <p>業務の状況によって変動する可能性はありますが、その他、参加者の方の希望を考慮して計画いたします。 興味・関心がある業務や分野がございましたら、志望業務欄にご記入ください。</p>			
受入課室等紹介	<p>原子力損害賠償対策室では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一・第二原子力発電所事故に係る原子力損害の賠償に関する業務を行っています。</p> <p>【主な業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子力損害に関する法律の運用に関する業務 ○原子力損害賠償紛争審査会に関する業務 ○原子力損害賠償の未請求者に対する早期請求を促す広報業務 ○原子力損害賠償・廃炉等支援機構法に基づく許認可等の対応 ○原子力損害賠償に関する条約及び国際枠組に関する対応 ○原子力損害賠償紛争解決センターに関する業務 等 			
受入課室等からの一言	専門的な知識や技術は必要ありません。原子力損害賠償対策室の業務に関心がある方はもちろん、行政、国家公務員の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております！			